

1 めざすべき地域社会の姿

東社協がめざすビジョン

- 前期計画では、東社協が都道府県圏域の社協としてめざすべき地域社会の姿を「東京の多様性を活かし、それぞれの地域生活課題を主体的に解決できる地域共生社会」と整理しました。この整理の中で大切にした視点に、「めざすべき地域社会」は画一的なものではなく、地域の特性に応じたものであること、さまざまな主体が活躍する東京らしい「多様性」を活かすこと、地域の特性に応じるためには、新しいしくみをつくるだけでなく、地域にすでにある活動の継続を支える視点も重要であること、などがあります。
「東京の多様性」には、「多様な価値観」を認め合うこと、「多様な主体」が活躍すること、「多様な地域」のそれぞれの地域特性を大切にすること、3つの意味を込めています。
- 前期計画の期間中には、東社協地域福祉推進委員会のもとに設置された「地域福祉推進検討ワーキング」において、「生きづらさや孤立に苦しむ人たちを包摂する地域社会のあり方」をテーマに検討を実施しました。令和2年度末にはまとめとして、「社会全体が誰も取り残さず、すべての人が社会や地域で安心できる居場所を見出し、ウェルビーイングを高めつつ、尊厳を持って自分らしく、参加、活躍できる『包摂・共生型の地域社会づくり』のあり方」を提起しています。また、コロナ禍をふまえて令和3年度に都内区市町村社協を対象に実施したアンケート調査では、コロナ禍を通じて顕在化したさまざまな地域課題があることが明らかになりました。これまで社協が把握していなかったり、新たに生まれたりした地域の課題を解消するための連携、協働の取り組みが始まっています。
- こうした状況を鑑みても、前期計画の「めざすべき地域社会の姿」は、東社協として引き続き実現をめざすべきものと考えます。そこで、新たな『令和4～6（2022～2024）年度東社協中期計画』においても、前期計画と同じ東社協のビジョンとして、以下を掲げることとします。「東社協の5つの基本的役割」と、取り組みの方向性をふまえた3か年の重点事業をはじめ、各年度や事業に応じた期間で目標を持ってすすめる全事業の取り組みを通じて、このビジョンの実現をめざします。

令和4～6(2022～2024)年度 東社協中期計画における「めざすべき地域社会の姿」

東京の多様性を活かし、それぞれの地域生活課題を主体的に解決できる地域社会

一人ひとりが
安心して
見通しを持って
暮らせる

それぞれの地域生活課題を
主体的に解決できる地域社会

誰もが福祉力を
高めることで、
地域の課題を
主体的に解決できる

- また、その具体的な「地域社会の姿」として、前々期『平成28～30年度 東社協中期計画』および前期計画に引き続き、次の5つを掲げます。

1 東京ならではの多様な暮らしを認め合い、気づき育ち合える地域社会

世帯規模も小さく、さまざまな人が暮らす東京では既存の制度で対応できないニーズが生じやすくなっています。東社協は、既存の制度の枠組みに捉われず幅広い参加を得ながら「東京ならではの多様な暮らしを認め合い、気づき育ち合える地域社会」の実現をめざします。

2 誰もがライフステージに見通しを持って暮らせる地域社会

個別支援を通じて把握される課題は、分野を超えてライフステージを縦断する課題であることも少なくありません。東社協は、個別支援と幅広い協働による地域づくりがつながり、課題を解決したり、その発生を未然に防ぐことにより「誰もがライフステージに見通しを持って暮らせる地域社会」の実現をめざします。

3 一人ひとりの権利が尊重され、日ごろから安全と安心を高め続ける地域社会

日常生活を営む中で基本的な権利として当然認められるべきことが行使できない方やさまざまな事情により生きづらさを抱えて暮らしていることが少なくありません。権利侵害だけでなく、突然起こる災害や孤立にもつながる生活困窮、暴力・虐待等は、安心な暮らしを妨げます。東社協では、地域社会における幅広い協働により「一人ひとりの権利が尊重され、日ごろから安全と安心を高め続ける地域社会」の実現をめざします。

4 専門機関から地域住民までが協働して福祉基盤をつくり上げる地域社会

福祉基盤を強固なものとしていくためには、福祉人材がいきいきと活躍するとともに、社会福祉法人が地域のニーズに対応する存在として専門性を発揮し、企業やNPOなどの多様な主体や民生児童委員などの活動者が活動しやすい環境づくりや、地域住民が主体的に支え合う活動が望まれます。東社協は、こうした活動が主体的につながりあい、「専門機関から地域住民までが協働して福祉基盤をつくり上げる地域社会」の実現をめざします。

5 それぞれの地域におけるニーズに対する主体的な解決策を開発する地域社会

それぞれの地域にあるニーズと社会資源の特性をふまえて、課題の解決のために必要な取組みを新たに作っていくことが求められます。東社協は、地域における幅広い参加と協働を通じて「それぞれの地域におけるニーズに対する主体的な解決策を開発する地域社会」の実現をめざします。